

平成 23 年度 産業廃棄物処理業における労働安全衛生推進研修会 開催結果

平成 23 年度も「産業廃棄物処理業における労働安全衛生推進研修会」を平成 23 年 12 月 2 日（金）に開催しました。その開催内容は次のとおりです。

開催日時 平成 23 年 12 月 2 日（金）

13：30～16：30

開催場所 兵庫県中央労働センター

301 会議室

参加者数 32 名 ・ 参加企業数 24 社

概 要

「ゼロ災運動で現場力を高めよう！」

～安全健康先取り～

講 師： 本田 篤仁

中央労働災害防止協会近畿安全衛生サービスセンター

専門役・安全管理士

（1）講義 1 「労働災害防止に向けた考え方」

全産業の中でも産業廃棄物処理業は労働災害の発生率が高いことが述べられ、労働災害ではミスを起こした当事者自身の問題とされがちであり、個人向けの教育訓練が中心になる傾向が説明されました。それに対して、ミスの背後にある要因の追究が必要であり、そこを改善する対策が必要であることが述べられました。

（2）講義 2 「ゼロ災害ミーティングの進め方」

安全衛生管理上の欠陥により不安全状態が生まれ、人の不安全行動と相まって労働災害につながるということが説明されました。人は不安全行動を引き起こす（ヒューマンエラーや違反）ことが述べられ、職場自主活動の必要性が説かれて、ゼロ災害・ゼロ疾病を目指して全員参加で危険や問題点を解決していく

「ゼロ災運動」が提示されました。その具体的な手法として、指差し呼称、危険予知訓練（活動）が紹介されました。

（3）実技「指差し呼称・指差し唱和・タッチ・アンド・コール・健康 KY」

先の講義で紹介された指差し呼称について、その具体的なやり方（人差し指で対象を指し、手を振り上げたところで一度止めて対象を良く見て確認し、はっきりと声を出して振り下ろす）が説明されて、実際にイスを押し込む動作で練習しました。同様に指差し唱和、タッチ・アンド・コール、健康 KY についても練習しました。

（4）実技「ゼロ災チームミーティング訓練」

続いてゼロ災チームミーティング訓練に入りました。あらかじめ用意されたシナリオを、3 人 1 組となって役割分担（リーダーと作業員 2 人）をして、アドリブや身振り手振りを交えて読みました。役割分担を替えて 3 回シナリオの本読みを行い、ミーティングの進め方を練習しました。

